



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名	セントラル硝子株式会社	上場取引所 東
コード番号	4044	URL: https://www.cgco.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役 社長執行役員	(氏名) 前田 一彦
問合せ先責任者	(役職名) コーポレート・コミュニケーション部長	(氏名) 橋本 秀和 TEL: 03-3259-7062
定時株主総会開催予定日	2026年6月26日	配当支払開始予定日 2026年6月10日
有価証券報告書提出予定日	2026年6月22日	
決算補足説明資料作成の有無	: 有	
決算説明会開催の有無	: 有 (アナリスト・機関投資家向け)	

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	144,479	0.2	10,029	△5.6	12,281	1.0	8,360	47.2
2025年3月期	144,233	△10.0	10,629	△26.8	12,164	△25.2	5,678	△54.5

(注) 包括利益 2026年3月期 13,118百万円 (74.6%) 2025年3月期 7,512百万円 (△51.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	337.27	—	7.0	6.1	6.9
2025年3月期	229.14	—	4.9	5.8	7.4

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 14百万円 2025年3月期 346百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	197,825	128,212	62.5	4,986.36
2025年3月期	204,834	121,063	57.0	4,709.77

(参考) 自己資本 2026年3月期 123,625百万円 2025年3月期 116,728百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	26,441	△10,027	△17,673	22,078
2025年3月期	23,587	△4,244	△17,567	22,040

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	85.00	—	85.00	170.00	4,298	74.2	3.6
2026年3月期	—	85.00	—	85.00	170.00	4,298	50.4	3.5
2027年3月期(予想)	—	85.00	—	85.00	170.00		58.5	

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,000	12.9	4,000	59.9	4,100	20.2	2,500	17.0	100.85
通期	164,000	13.5	10,000	△0.3	10,300	△16.1	7,200	△13.9	290.45

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 一、 除外 1社 (社名) セントラルガラスヨーロッパ Ltd.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	26,000,000株	2025年3月期	26,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	1,207,216株	2025年3月期	1,215,616株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	24,789,378株	2025年3月期	24,782,460株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員及び従業員向け株式交付信託口が保有する自己株式が含まれております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	51,755	△1.1	2,653	△33.2	10,817	4.1	9,976	43.7
2025年3月期	52,320	0.2	3,972	△30.6	10,386	1.2	6,943	△35.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	401.94	—
2025年3月期	279.82	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	150,618	93,622	62.2	3,771.38
2025年3月期	159,291	86,150	54.1	3,471.54

(参考) 自己資本 2026年3月期 93,622百万円 2025年3月期 86,150百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況（5）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 当期の研究開発活動の概況	5
(5) 今後の見通し	5
(6) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当など	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	14
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における業績につきましては、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしました結果、当期の売上高は144,479百万円と、前期比0.2%の増加となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、営業利益は前期比599百万円減少の10,029百万円となりました。経常利益は前期比116百万円増加の12,281百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比2,681百万円増加の8,360百万円となりました。

セグメント別の状況につきましては、従来「化成品事業」及び「ガラス事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、情報開示の充実を図るべく、当連結会計年度より「電子材料事業」「エネルギー材料事業」「ライフ&ヘルスケア事業」及び「ガラス事業」の4つに変更いたしました。なお、前期との比較は、変更後のセグメント区分に組み替えて比較しております。

セグメント別の概況

(電子材料事業)

電子材料につきましては、AI向け半導体の需要増加による先端ロジックメーカーの増産を背景とした特殊ガス製品の販売増加などにより、売上高は前期比8.1%増加の26,202百万円となりました。一方損益は原材料費他のコスト上昇の影響もあり、前期比12百万円減少の3,986百万円の営業利益となりました。

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
売上高	24,233	26,202	1,969	8.1%
営業利益	3,998	3,986	△12	△0.3%

(エネルギー材料事業)

エネルギー材料につきましては、競争激化に伴うリチウムイオン電池用電解液製品の販売減少により、売上高は前期比19.5%減少の12,070百万円となり、損益は前期比1,142百万円悪化の3,264百万円の営業損失となりました。

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
売上高	15,001	12,070	△2,930	△19.5%
営業損失(△)	△2,121	△3,264	△1,142	—

（ライフ&ヘルスケア事業）

医療化学品につきましては、医療関連製品の国内販売は堅調だったものの、輸出が低調に推移した事に加え、為替影響による販売単価の下落により、売上高は前期を下回りました。

素材化学品につきましては、機能材料製品の需要が低調に推移したことに加え、前年にPAC（水処理用凝集剤）事業から撤退した影響により、売上高は前期を下回りました。

肥料につきましては、緩効性肥料の需要が低調に推移したため販売数量は減少したものの、原材料価格の上昇に伴い販売価格も上昇したため、売上高は前期を上回りました。

以上、ライフ&ヘルスケア事業の売上高は前期比2.9%減少の41,024百万円となりました。一方損益は固定費の削減、不採算事業撤退の効果などにより、前期比220百万円増加の6,170百万円の営業利益となりました。

（単位：百万円）

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
売上高	42,270	41,024	△1,245	△2.9%
営業利益	5,949	6,170	220	3.7%

事業別売上高

（単位：百万円）

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
医療化学品	11,909	11,010	△898	△7.5%
素材化学品	19,161	18,322	△838	△4.4%
肥料	11,199	11,691	491	4.4%
計	42,270	41,024	△1,245	△2.9%

（ガラス事業）

建築用ガラスにつきましては、非住宅向け製品の販売増加により、売上高は前期を上回りました。

自動車用ガラスにつきましては、需要が低調に推移したことに加えて、顧客の一時生産停止による製品の販売減少により、売上高は前期を下回りました。

ガラス繊維につきましては、自動車向け製品の販売増加により、売上高は前期を上回りました。

以上、ガラス事業の売上高は前期比2.0%増加の59,640百万円となり、損益は前期比342百万円増加の2,810百万円の営業利益となりました。

（単位：百万円）

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
売上高	58,467	59,640	1,172	2.0%
営業利益	2,468	2,810	342	13.9%

事業別売上高

（単位：百万円）

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
建築用ガラス	22,248	23,261	1,013	4.6%
自動車用ガラス	27,655	27,403	△252	△0.9%
ガラス繊維	8,562	8,973	410	4.8%
その他	1	1	0	46.1%
計	58,467	59,640	1,172	2.0%

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末に比べ、株価の上昇などで投資有価証券が929百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が4,176百万円、棚卸資産が4,251百万円減少したことなどにより7,009百万円減少し197,825百万円となりました。

負債は支払手形及び買掛金が1,236百万円、社債の償還や借入金の返済などにより有利子負債が12,005百万円減少したことなどにより、14,158百万円減少し69,612百万円となりました。

純資産は配当金の支払いにより4,293百万円減少した一方、親会社株主に帰属する当期純利益を8,360百万円計上、その他有価証券評価差額金が1,776百万円増加したことなどにより、7,148百万円増加し128,212百万円となりました。また、自己資本比率は5.5%増加し62.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ、37百万円増加し、22,078百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、税金等調整前当期純利益12,179百万円、減価償却費7,993百万円、運転資金の増減（売上債権及び契約資産、棚卸資産、仕入債務の増減合計額）による収入5,486百万円などにより、26,441百万円の収入（前年同期は23,587百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、定期預金の払い戻しによる収入5,359百万円などの一方で、定期預金の預入による支出5,734百万円、有形固定資産の取得による支出9,379百万円などにより、10,027百万円の支出（前年同期は4,244百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、社債の償還による支出8,000百万円、長短借入金の減少による支出4,484百万円、配当の支払いによる支出4,293百万円などにより、17,673百万円の支出（前年同期17,567百万円の支出）となりました。

なお、当社グループの主要財政関連指標の推移は以下のとおりであります。

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期
自己資本比率 (%)	43.4	46.8	53.6	57.0	62.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	29.1	32.9	33.5	39.3	49.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	3.7	3.9	2.4	1.8	1.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	43.2	55.4	63.5	78.1	109.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算定しております。

(注3) 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち借入金及び社債等を対象としております。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 当期の研究開発活動の概況

当連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、7,659百万円であります。

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
研究開発費	7,390	7,659	268	3.6%

(5) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、AI向け半導体の需要増加による先端ロジックメーカーの増産基調は継続するものと考えておりますが、中東情勢に起因する原燃材料の価格上昇及び継続的な調達への不確実性の高まりなど、当社製品の販売に与える影響は不確かで、今後も不透明な状況が続くものと思われま

す。当社グループといたしましては、一昨年に公表した、長期ビジョン「VISION 2030」、ありたい姿「サステナブルな社会の実現に寄与する『スペシャリティ・マテリアルズ・カンパニー』になる」の実現に向けて、ESG経営により事業基盤を強化し、ポートフォリオの最適化を進めることにより、グループの企業力強化に努めてまいります。

次期の業績の見通しは、以下のとおりであります。

売上高は、新規顧客の量産規模の拡大によるリチウムイオン電池用電解液製品の販売増加が見込まれることから、当期比で増収を見込んでおります。

営業利益は、リチウムイオン電池用電解液製品などの増収効果があるものの、中東情勢に起因する原燃材料価格高騰の影響が見込まれることから、当期比同水準を見込み、当期計上の為替差益の剥落などにより経常利益、当期純利益は減益となる見通しです。

売上高	1,640億円
営業利益	100億円
経常利益	103億円
当期純利益	72億円

なお、業績の見通しにおける前提条件につきましては、為替レート 155円/USドル、原油価格はCIF 100ドル/バレルとしております。

(6) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当など

当社は、企業価値の最大化を目的とし、投資と資金調達の最適化を重視した資本構成を目標としており、利益配分については、企業体質の強化を図るため、研究開発や設備投資など将来の事業展開のための内部留保の充実を考慮しつつ、長期的視点に立って業績に見合った安定的な配当を行うことを基本方針としております。

利益還元につきましては、中期経営計画（2025～2030年度）における2025～2027年度の期間においては、「VISION 2030」実現に向けて、スペシャリティ製品の研究開発の更なる強化、積極的な設備投資を進める一方で、安定配当継続の基本方針に則り、1株当たり170円を下限配当としておりましたことから、当期の期末配当につきましては、1株当たり85円とさせていただくことといたしました。これにより中間配当金（85円）を含めた年間配当金（1株につき）は、以下のとおりとなります。

当期年間配当金	170円（DOE：3.5%、配当性向：50.4%）
前期年間配当金	170円

また、次期の1株当たり配当金は、年間配当金170円（中間配当金85円、期末配当金85円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、引き続き日本基準を適用することとしております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,483	25,697
受取手形、売掛金及び契約資産	39,220	35,043
商品及び製品	28,655	26,124
仕掛品	2,470	2,495
原材料及び貯蔵品	16,080	14,334
その他	3,122	3,816
貸倒引当金	△142	△117
流動資産合計	114,889	107,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	82,892	84,350
減価償却累計額	△64,653	△66,167
建物及び構築物（純額）	18,239	18,183
機械装置及び運搬具	150,941	151,162
減価償却累計額	△134,969	△136,090
機械装置及び運搬具（純額）	15,971	15,072
土地	20,398	20,406
建設仮勘定	1,613	2,800
その他	24,569	25,089
減価償却累計額	△19,940	△20,427
その他（純額）	4,629	4,662
有形固定資産合計	60,852	61,125
無形固定資産		
その他	1,055	1,623
無形固定資産合計	1,055	1,623
投資その他の資産		
投資有価証券	17,835	18,765
退職給付に係る資産	3,869	4,150
繰延税金資産	5,115	3,294
その他	1,302	1,528
貸倒引当金	△85	△59
投資その他の資産合計	28,036	27,680
固定資産合計	89,944	90,429
資産合計	204,834	197,825

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,970	13,733
短期借入金	7,711	6,838
1年内償還予定の社債	8,000	5,000
未払費用	6,358	5,905
未払法人税等	649	924
契約負債	1,226	999
賞与引当金	1,289	1,263
事業構造改善引当金	105	—
その他	8,789	7,531
流動負債合計	49,100	42,198
固定負債		
社債	15,000	10,000
長期借入金	11,610	7,998
繰延税金負債	26	78
特別修繕引当金	2,477	2,889
役員株式交付引当金	63	83
従業員株式交付引当金	379	555
退職給付に係る負債	4,949	4,608
資産除去債務	—	227
その他	163	973
固定負債合計	34,669	27,414
負債合計	83,770	69,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,109	8,109
利益剰余金	81,411	85,616
自己株式	△3,817	△3,792
株主資本合計	103,872	108,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,772	7,548
繰延ヘッジ損益	8	—
為替換算調整勘定	6,099	6,666
退職給付に係る調整累計額	975	1,309
その他の包括利益累計額合計	12,856	15,524
非支配株主持分	4,335	4,586
純資産合計	121,063	128,212
負債純資産合計	204,834	197,825

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	144,233	144,479
売上原価	104,874	105,896
売上総利益	39,358	38,583
販売費及び一般管理費	28,729	28,553
営業利益	10,629	10,029
営業外収益		
受取利息	264	251
受取配当金	536	635
持分法による投資利益	346	14
為替差益	211	643
補助金収入	407	776
棚卸資産売却益	395	412
受取ロイヤリティー	280	360
その他	439	404
営業外収益合計	2,881	3,498
営業外費用		
支払利息	294	250
休止固定資産費用	370	231
固定資産廃棄損	321	506
棚卸資産廃棄損	115	134
貸倒引当金繰入額	2	3
その他	240	121
営業外費用合計	1,345	1,247
経常利益	12,164	12,281
特別利益		
投資有価証券売却益	—	786
関係会社株式売却益	110	—
為替換算調整勘定取崩益	1,177	192
関係会社清算益	—	116
特別利益合計	1,287	1,095
特別損失		
固定資産売却損	0	—
減損損失	2,071	159
投資有価証券売却損	0	—
関係会社株式売却損	1,832	1,038
特別損失合計	3,905	1,198
税金等調整前当期純利益	9,547	12,179
法人税、住民税及び事業税	1,965	1,827
法人税等調整額	1,121	989
法人税等合計	3,086	2,817
当期純利益	6,460	9,362
非支配株主に帰属する当期純利益	781	1,001
親会社株主に帰属する当期純利益	5,678	8,360

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	6,460	9,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	1,770
繰延ヘッジ損益	△12	△8
為替換算調整勘定	1,230	1,567
退職給付に係る調整額	196	333
持分法適用会社に対する持分相当額	△461	94
その他の包括利益合計	1,052	3,756
包括利益	7,512	13,118
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,510	11,765
非支配株主に係る包括利益	1,001	1,352

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,168	8,109	80,443	△3,829	102,891
当期変動額					
剰余金の配当			△4,710		△4,710
親会社株主に帰属する 当期純利益			5,678		5,678
自己株式の取得				△3	△3
株式交付信託による 自己株式の処分				15	15
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	968	12	980
当期末残高	18,168	8,109	81,411	△3,817	103,872

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額 合計		
当期首残高	5,680	21	5,543	778	12,024	5,134	120,050
当期変動額							
剰余金の配当							△4,710
親会社株主に帰属する 当期純利益							5,678
自己株式の取得							△3
株式交付信託による 自己株式の処分							15
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	91	△12	555	196	831	△799	32
当期変動額合計	91	△12	555	196	831	△799	1,012
当期末残高	5,772	8	6,099	975	12,856	4,335	121,063

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	18,168	8,109	81,411	△3,817	103,872
連結子会社の決算期変更に伴う変動			137		137
連結子会社の決算期変更に伴う変動を反映した当期首残高	18,168	8,109	81,548	△3,817	104,009
当期変動額					
剰余金の配当			△4,293		△4,293
親会社株主に帰属する当期純利益			8,360		8,360
自己株式の取得				△2	△2
株式交付信託による自己株式の処分				27	27
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	4,067	24	4,091
当期末残高	18,168	8,109	85,616	△3,792	108,101

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,772	8	6,099	975	12,856	4,335	121,063
連結子会社の決算期変更に伴う変動							137
連結子会社の決算期変更に伴う変動を反映した当期首残高	5,772	8	6,099	975	12,856	4,335	121,200
当期変動額							
剰余金の配当							△4,293
親会社株主に帰属する当期純利益							8,360
自己株式の取得							△2
株式交付信託による自己株式の処分							27
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,776	△8	566	333	2,668	251	2,919
当期変動額合計	1,776	△8	566	333	2,668	251	7,011
当期末残高	7,548	—	6,666	1,309	15,524	4,586	128,212

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,547	12,179
減価償却費	8,888	7,993
減損損失	2,071	159
引当金の増減額 (△は減少)	676	423
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	105	140
受取利息及び受取配当金	△801	△887
支払利息	294	250
補助金収入	△407	△776
持分法による投資損益 (△は益)	△346	△14
投資有価証券売却損益 (△は益)	1,722	251
関係会社清算損益 (△は益)	—	△116
固定資産売却損益 (△は益)	△14	△15
固定資産廃棄損	321	506
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	3,789	3,263
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,457	2,881
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,238	△658
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,022	△34
未払費用の増減額 (△は減少)	400	△62
その他	△695	1,179
小計	25,752	26,664
利息及び配当金の受取額	859	892
利息の支払額	△301	△241
補助金の受取額	407	776
法人税等の支払額	△3,130	△1,651
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,587	26,441
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,496	△5,734
定期預金の払戻による収入	5,397	5,359
有形固定資産の取得による支出	△5,593	△9,379
有形固定資産の売却による収入	30	20
投資有価証券の取得による支出	△27	△208
投資有価証券の売却及び償還による収入	4,270	864
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	501
関係会社の整理による収入	—	166
その他	△825	△1,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,244	△10,027

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△3,069	△374
長期借入れによる収入	—	3,000
長期借入金の返済による支出	△7,614	△7,110
社債の償還による支出	—	△8,000
自己株式の取得による支出	△3	△2
配当金の支払額	△4,710	△4,293
非支配株主への配当金の支払額	△919	△808
非支配株主への清算配当金の支払額	△1,149	—
その他	△101	△84
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,567	△17,673
現金及び現金同等物に係る換算差額	406	627
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,182	△632
現金及び現金同等物の期首残高	19,858	22,040
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	—	670
現金及び現金同等物の期末残高	22,040	22,078

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日である連結子会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について、連結財務諸表の作成上必要な調整を行ってまいりました。

当連結会計年度より、より適切な経営情報の把握及び連結財務諸表の開示を図るため、セントラルガラスチェコス. r. o.、セントラルガラスインターナショナル, Inc.、基佳電子材料股份有限公司、基佳電子材料シンガポール Pte. Ltd.、浙江中硝康鹏化学有限公司、上海中硝商貿有限公司、ジェイセル㈱、韓国セントラル硝子㈱については、連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2025年1月1日から2025年3月31日までの損益については、利益剰余金として調整しております。また、現金及び現金同等物の増減については、連結キャッシュ・フロー計算書の連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額として表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に製品別・サービス別の事業部門を置き、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。従って、当社グループはそれぞれの事業部門を基礎とした「電子材料事業」「エネルギー材料事業」「ライフ&ヘルスケア事業」及び「ガラス事業」の4つを報告セグメントとしております。

「電子材料事業」は主に半導体プロセス用高純度ガスなどを製造販売しております。

「エネルギー材料事業」はリチウムイオン電池用電解液を製造販売しております。

「ライフ&ヘルスケア事業」は主に、医療化学品、素材化学品、肥料を製造販売しております。

「ガラス事業」は主に、建築用ガラス、自動車用ガラス、ガラス繊維を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額
	電子材料 事業	エネルギー 材料事業	ライフ& ヘルスケア 事業	ガラス事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	24,233	15,001	42,270	58,467	139,972	4,260	—	144,233
セグメント間の内部 売上高又は振替高	85	4	95	29	215	2,431	△2,647	—
計	24,319	15,005	42,365	58,497	140,188	6,692	△2,647	144,233
セグメント利益又は損失 (△) (営業利益)	3,998	△2,121	5,949	2,468	10,295	334	—	10,629
セグメント資産	42,681	28,547	70,349	60,190	201,769	3,970	△905	204,834
その他の項目								
減価償却費	1,968	1,320	3,595	1,923	8,807	81	—	8,888
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	2,185	1,052	2,533	1,985	7,756	124	—	7,881

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額
	電子材料 事業	エネルギー 材料事業	ライフ& ヘルスケア 事業	ガラス事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	26,202	12,070	41,024	59,640	138,938	5,541	—	144,479
セグメント間の内部売 上高又は振替高	65	4	157	23	249	2,396	△2,645	—
計	26,267	12,074	41,181	59,663	139,188	7,937	△2,645	144,479
セグメント利益又は損失 (△) (営業利益)	3,986	△3,264	6,170	2,810	9,702	327	—	10,029
セグメント資産	42,798	30,491	61,091	59,390	193,772	4,945	△892	197,825
その他の項目								
減価償却費	2,164	975	2,878	1,872	7,890	102	—	7,993
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	2,583	1,328	2,939	2,330	9,182	162	—	9,344

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

4. 報告セグメントの変更に関する事項

報告セグメントの区分変更

従来、報告セグメントについては「化成品事業」及び「ガラス事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、情報開示の充実を図るべく、当連結会計年度より「電子材料事業」「エネルギー材料事業」「ライフ&ヘルスケア事業」及び「ガラス事業」の4つに変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前連結会計年度のセグメント情報につきましては、変更後の区分方法により作成しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額	合計
	電子材料 事業	エネルギー 材料事業	ライフ& ヘルスケア 事業	ガラス事業	計			
減損損失	6	2,012	10	42	2,071	—	—	2,071

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業等を含んでおります。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計
	電子材料 事業	エネルギー 材料事業	ライフ& ヘルスケア 事業	ガラス事業	計			
減損損失	—	—	105	—	105	—	54	159

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業等を含んでおります。

2. 「調整額」の金額は、セグメントに帰属しない遊休資産に係る減損損失です。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	4,709円77銭	4,986円36銭
1株当たり当期純利益	229円14銭	337円27銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、「役員向け株式交付信託」及び「従業員向け株式交付信託」を導入し、当該信託が保有する当社株式を連結財務諸表において自己株式として計上しております。これに伴い、1株当たり純資産額の算定上、当該信託が保有する当社株式を「期末発行済株式総数」の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり当期純利益の算定上、当該信託が保有する当社株式を「普通株式の期中平均株式数」の計算において控除する自己株式数に含めております。

1株当たり純資産額の算定上、控除した当該自己株式の期末株式数は前連結会計年度末において470,100株、当連結会計年度末において460,900株であります。また、1株当たり当期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前連結会計年度において472,516株、当連結会計年度において464,858株であります。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	5,678	8,360
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	5,678	8,360
普通株式の期中平均株式数 (千株)	24,782	24,789

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

本日公表いたしました「役員の人事に関するお知らせ」をご参照ください。